



近江商人通り



DATA・BOARD 48



- ① 滋賀県近江八幡市新町2丁目
- ② 延長100m, 幅員4m
- ③ 近江商人壁, 自然石側溝
- ④ 八幡瓦, 自然石, 石灰石アスコン舗装

近江八幡市は、近世を通じ城下町として湖東地方有数の商都として栄えたまちで、今も市内の小路に建ち並ぶ白壁塗りの商家の家並みや土蔵には歴史の景観が感じられる。しかし、近年は建築様式の様変わりによって従来つちかわれてきた歴史的景観との調和が崩れつつあった。そこで、比較的往時の歴史的町並みが残されている新町通り周辺の景観整備を行ったものが、この近江商人通りである。整備にあたっては、伝統産業である焼き八幡瓦を使って近江商人壁を再現し、個性的な景観を演出している。

こうして歴史的文化遺産を再評価するとともに、うるおいのある市民の憩いの場、ふれあいの場、やすらぎの場を創出し、落ち着きのある親しみやすい快適な生活空間をつくりあげている。